

令和2年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立吉井南小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 64-3222			氏名	吉次 恒彦
1 年間の実施内容 (取組状況・実績等)					
4月	実施テーマ	教職員の綱紀の保持			
<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の職員会議において、県教育委員会からの「教職員の綱紀の保持について（通知）」（令和2年4月3日付）をもとに、校長による指導を行った。 ・目標管理シートの「学校運営での提言・その他」の欄に、服務規律に関する自身の取組（飲酒運転を絶対にしない等）を記述させるとともに、研究・研修の欄には、体罰に頼らない指導について、具体的に記述するよう指導した。 					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<p>年度当初に、校長のリーダーシップのもと、職員全体で「綱紀の保持」について確認することで、教職員としての自覚と責任を新たにすることができた。職員一人ひとりの法令遵守の意識は高揚し、不祥事根絶に向けて一丸となって取り組む雰囲気醸成することができた。</p>					
7月	実施テーマ	○交通事故の防止 ○飲酒運転の防止			
○交通事故の防止のための研修 ○飲酒運転の防止のための研修					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<p>佐世保市内の小・中学校教職員による交通事故が、6～7月で11件発生したことを受け、交通事故の防止（交通法規の順守、睡眠時間の確保、余裕のある行動等）について改めて確認した。また、万が一交通事故が発生した際の速やかな対応についても再度確認した。次年度は、外部機関による講師の講話を企画するなど、職員一人ひとりの交通事故に対する意識や対応力をより高めていきたいと考える。</p>					
12月	実施テーマ	○懲戒処分とその影響について ○体罰に頼らない指導 ○わいせつ行為等防止のための自己分析			
○懲戒処分の種類とそれぞれの処分内容についての確認 ○体罰の禁止及び体罰と懲戒の違いについての確認 ○「心と性に関するチェックシート」の実施					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<p>懲戒処分にはどのような種類があり、具体的にどのような処分が為されるのかを確認することで、職員一人ひとりの責任と自覚を高めさせた。また、体罰について取り上げ、体罰と懲戒の違いを再度確かめることにより、体罰に頼らない指導の徹底を図ることができた。さらに、県教育庁総務課発行の「コンプライアンス通信（VOL103）」を活用し、全国におけるわいせつ行為の現状について確認するとともに、一人ひとりの意識を高め、しっかりと自己認識をさせるために、長崎県教育委員会作成の「心と性に関するチェックシート」を実施した。</p>					

委員会名	佐世保市立吉井南小学校 服務規律推進委員会
構 成 員	所属内委員（3名 構成員：校長・教頭・教務主任） 外部委員（3名 役職等：学校評議員2名・PTA会長）
活動内容 (主なもの)	○活動報告・反省 ○外部委員による年間の取組への助言
	活動内容の評価・改善点 2月24日（水）に、本校にて活動報告を行った。外部委員からは、本校児童及び本校職員の交通事故が、本年度0件であることを喜んでいただき、今後も継続していきけるように努めてほしいとの助言をいただいた。また、体罰に頼らない教育の実践や、日々の生活指導について、労いの言葉をいただいた。地域における児童の挨拶や返事に関しては、「まだ十分ではない」とのご意見をいただくとともに、これからも粘り強く声掛けをしていくとの力強い言葉をいただくことができた。
3 年間を通しての計画の達成状況	
	年間を通しての取組状況チェックリスト
	<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。
	年間を通しての取組の評価・改善点
	【評 価】 年間を通して、管理職より指導の徹底を図ったり、不祥事の事例について確認したりすることにより、職員一人ひとりが、綱紀の保持を自分のこととして考えることができた。
	【改善点】 外部委員の助言や提案を参考にして、さらに綱紀の保持の徹底を図っていきたい。今後は、外部機関より講師を招聘するなど、より質の高い研修を目指していくことも必要であると考えている。
	■ 管理職員による職員に対する指導状況 (不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合のみ)
	○指導年月日：令和2年6月16日（通知日：令和2年6月16日） 指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。） ・職員終会において、校長より、長崎市市内での公立小教諭による交通事故（令和元年10月発生）についての概要を説明した。職員には、事案を他人事とせず、交通事故が発生した際の迅速かつ確実に丁寧な対応について指導した。
	資料添付 有 ・ 無